

| | |
|--|------------|
| 実施日：9月17日（4校時） | |
| 領 域：3年社会科（公民的分野） | |
| 取組名：誹謗・中傷をなくす社会の取組から考える | |
| 対 象：3年生 | 実施場所：3-1教室 |
| <p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【教科としてのねらい】 インターネット上での誹謗・中傷が重大な人権問題となり、個々の意識を向上させる取組の必要性や、法制上の厳罰化が話題となっている。一方で企業等はこうした書き込みを減らすためのアプリ開発や社会実験を行い、より効果的に改善できる方法を模索中である。こうした企業等の取組を調べ、その意義や課題について個々の意見・感想を持つ。 ・ 【人権教育の視点に立ったねらい】 調べた内容に対する意見・感想を他者と交流することで、人権問題を自分の問題としてとらえさせる。また、自分を含む社会全体の取組が人権を守ることにつながることに気づかせ、自他の人権を守る意識と態度を育む。 | |
| <p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要【別紙④】</p> <p>【導入】「個人の意識向上」「厳罰化」以外に誹謗中傷を無くすための効果的な方法はないか？</p> <p>【展開】①国内外の企業や大学等での先行的な取組や社会実験について、各自で Chromebook を使って調べる。</p> <p>②調べたものの内の1つを選択し、その取組の意義や課題について調べる。</p> <p>③①②について他者と交流し、他者の意見・感想を記録する。</p> <p>④最終的な自分の意見・感想を記入する。</p> | |
| ウ 連携先：家庭 | |
| <p>エ 連携にむけての取組</p> <p>学年懇談会等で、昨今報道されているネット上での人権侵害の事例、それらに対する司法判断や企業の取組について知らせ、どこでも起こり得る身近な問題であることを意識させた。</p> | |
| <p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <p>日常における生徒同士の会話や担任と生徒との連絡ノートの内容のうち、ネットトラブルにつながりそうなものがあれば積極的に聞き取りやアドバイス、指導を行い、生徒指導委員会やいじめ対策委員会での議題として取り上げている。</p> | |
| <p>カ 評価の方法</p> <p>ワークシート、感想【別紙②】</p> | |
| <p>キ 成果</p> <p>「トラブルを未然防止するシステムが整ったとしても、最終的にはそれを利用するかどうかは人の心次第である」という感想が複数見られ、生徒自身が道徳や人権学習の意義を再確認することができた。</p> | |
| <p>ク 課題</p> <p>生徒同士が実際にどのような未然防止策を取っているかの交流も取り入れれば、より主体的な学びとなった。</p> | |